

ハワイ宣教

もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見る。ヨハネ 11 : 40

皆様の尊いご祈援によってハワイでの宣教が続けられていることを感謝いたします。今年は教会のテーマとして「さらにイエス様を知り、信頼し、従う」が与えられ、教会が御言葉を通して益々霊的な成長へと導かれることを祈っています。

クリスマス礼拝に、こひつじサークル（3～5才を対象にした毎週火曜日の日本語親子教室）から二組のご家族（C君とご両親、Kちゃんとお姉さんとご両親）が出席してくださいました。20年以上続いているこの集いを通して、これまでも救いに導かれ教会員になった方もあります。この伝道が実を結びさらに用いられる事を祈っています。2月のウェルカムサンデーにもこの方々がご友人、卒園生（J君と妹さんとお母様）と一緒に参加してくださいました。

また、クリスマス礼拝では、ハシモト・カイル君（小5）のバプテスマ式が行われました。彼は「バプテスマの時に人々の前で証しをすることが恥ずかしい」と思っていたのですが、当日は「自分がクリスチャンであることをみんなに伝えたい」と堂々と証しました。彼がバプテスマを受けたことでハシモトファミリーは親子三代で教会員となりました。

昨年夏に二年の予定で日本から転勤された堀本ご夫妻が昨年末に転籍をされました。ご夫妻は主からの賜物を用いて早速教会で奉仕をささげられています。3人のお子様（中高生）はバプテスマの決心を礼拝で祈られました。

日曜日だけでは補えない霊的な成長と信仰の交わりために中高生会が始まりました。祈りの時間に学校での様子（学校で悪い言葉が飛び交うことやいじめなど、高校生に至っては大麻の使用があったなど）を聞き、日々の学校生活の守りのために共に祈る必要を覚えています。何よりも、御言葉から彼らが主に信頼していくことを励まし、導く場としてこの中高生会が用いられるように祈っています。

2月には、数年ぶりに講師をお招きしての宣教大会が行われました。日本への宣教師リフェル先生ご家族とリフェル夫人のお母様キャサリン・リッチ先生がアメリカでの宣教報告の最初に私たちの教会に来てくださいました。中高生会や日曜学校、礼拝での日英両語でのメッセージで宣教へのさらなる重荷と先生方への祈りが教会に増し加わりました。私たちの教会が益々宣教のために祈り、ささげ、出ていくことを祈っています。



クリスマス礼拝



カイル君バプテスマ



中高生会



宣教大会

2024年2月
上久保 崇 窓